

10月の学校生活の様子

6年 小中交流合唱交歓会～歌声でつながる心と心～（10月9日）

10月9日（金）、嘉楽中学校において「小中交流合唱交歓会」が開催されました。今年度も、乾隆小学校と紫野小学校の6年生が参加し、合同で合唱を披露しました。

両校の児童が初めて顔を合わせたのは、9月16日に行われた合同練習でした。はじめは少し緊張した様子も見られましたが、アイスブレイクや自己紹介を通して交流を深めるうちに、次第に笑顔が増え、自然と会話が弾むようになりました。歌声を合わせる練習では、学校の違いを感じさせないほど息の合った姿が見られ、歌を通して仲間としてのつながりが生まれていく様子がとても印象的でした。短い時間の中でも交流の輪が大きく広がっていました。

そして迎えた本番当日。合同練習は一度だけでしたが、それぞれの学校で積み重ねてきた練習の成果を発揮し、子どもたちは堂々とステージに立ちました。指揮者の合図とともに会場に響き渡った歌声は、力強さと優しさにあふれ、聴いている人の心を惹きつける素晴らしいものでした。一人ひとりが真剣な表情で歌う姿からは、「みんなでよい合唱をつくり上げよう」という思いが伝わり、会場全体が温かな雰囲気になりました。

また、この交歓会では、中学生による迫力ある合唱を鑑賞する機会もありました。豊かな表現力や美しいハーモニー、心をつなげて歌う姿は、6年生にとって大きな刺激となりました。子どもたちは、自分たちより少し年上の先輩たちの姿に憧れの気持ちを抱くとともに、「中学校ではこんな活動ができるのだな」「自分たちも来年はこの舞台に立つのだな」と、中学校生活への期待を膨らませている様子でした。

小学校生活も残り半年余りとなった6年生にとって、今回の交流は進学への不安を和らげるとともに、中学校をより身近に感じるよい機会となりました。同じ中学校へ進学する仲間とのつながりを深めることができたことも、大きな収穫の一つです。新しい環境へ踏み出す子どもたちにとって、このような経験は安心感や自信につながるものと思います。

合唱交歓会を終えた子どもたちの表情には、大きな達成感と充実感があふれていました。音楽を通して心を通わせ、一つの作品をみんなで創り上げた経験は、子どもたちの心に深く刻まれたことでしょう。また、学校の枠を超えて交流する中で、仲間を思いやる気持ちや協力することの大切さについても学ぶことができました。

今回の合唱交歓会で育まれた友情や絆、そして中学校への期待を大切にしながら、残りの小学校生活をさらに充実したものにしてほしいと思います。これからも子どもたちが多くの人との関わりを通して成長し、希望をもって次のステージへ進んでいけるよう、学校としても支えてまいります。



運動会(10月17日)

10月17日（土）、爽やかな秋空の下、運動会を開催しました。子どもたちはこれまでの練習の成果を存分に発揮し、一人ひとりが輝く姿を見せてくれました。

運動会までの取組の中では、仲間と励まし合いながら挑戦を重ね、最後までやり抜く力や協力することの大切さを学んできました。当日は、赤組・白組ともに全力で競技や演技に取り組み、会場は大いに盛り上がりました。勝敗を超えて、子どもたちにとって貴重な経験となったことと思います。

また、本校の特色である異学年交流の姿も見られました。たてわり班種目の玉入れでは、上級生が下級生を励ましながらかつ活動する姿が見られ、学年を越えたつながりや思いやりの心が育まれていることを感じました。

さらに、5・6年生は係活動でも活躍しました。競技運営や放送、用具の準備・片付けなどに責任をもって取り組み、運動会を支えてくれました。その姿から、高学年としての成長と頼もしさを感じることができました。

当日は、多くの保護者・地域の皆様にご来校いただき、温かいご声援を賜りました。また、片付けにもご協力いただき、心より感謝申し上げます。子どもたちが仲間とともに努力し、挑戦した経験を今後の成長につなげていけるよう、引き続き教育活動の充実に努めてまいります。

